

太陽電池モジュール据付工事説明書

販売店・工事店様用

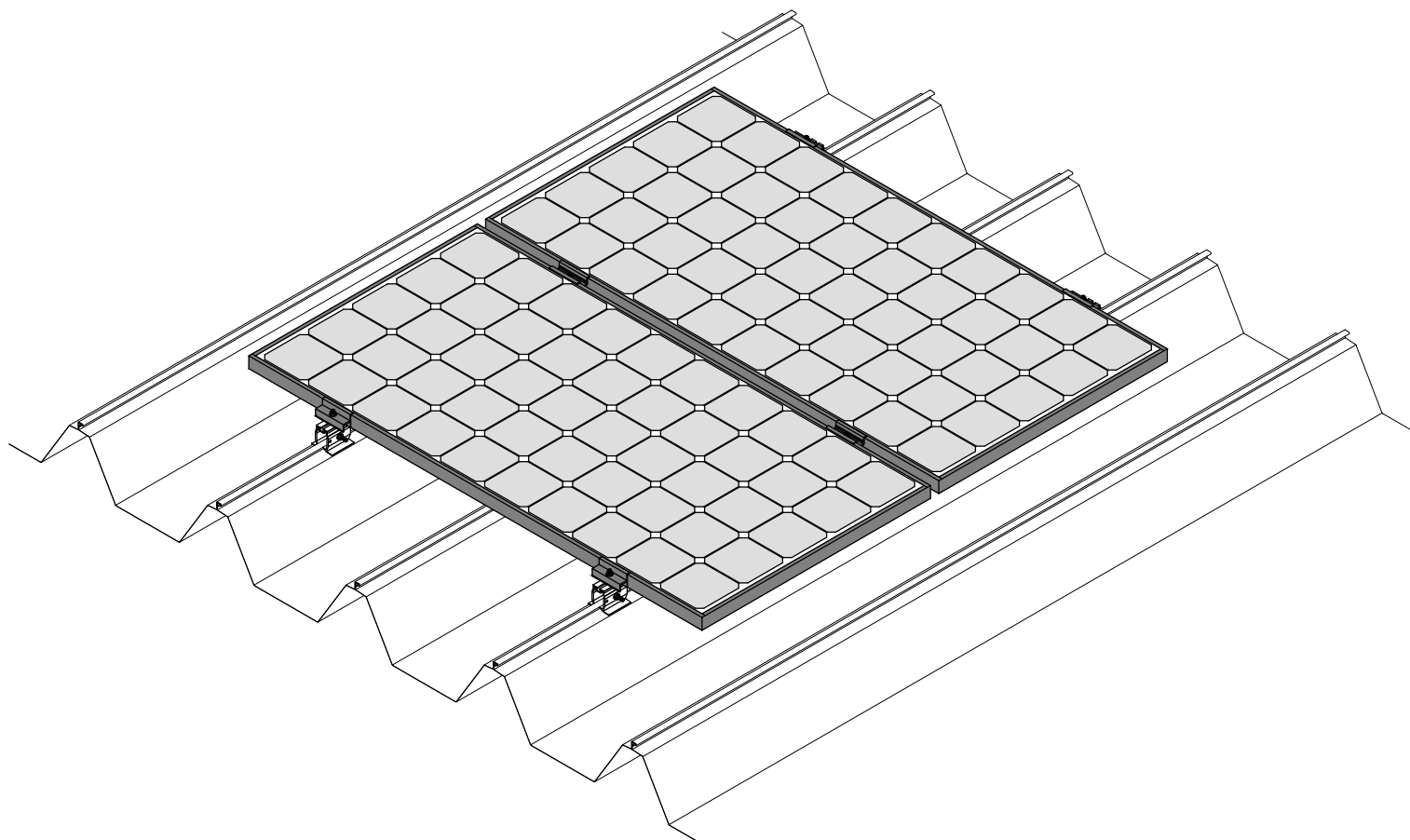
もくじ

1. 架台・・・・・・・・・・・・・・・・・・p1
2. 太陽電池モジュールの据付け・・・・・・・・p2

◆ 仕 様 ◆

太陽電池モジュール	ツメ無し
	横置
架台化粧	ブラック
YG0工法	

ハゼ折板AL金具対応



設置工事をされる方へお願い

- 据付工事を始める前に据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付け強度を確保するため、据付工事説明書の据付方法を守ってください。
- 据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。（第2種電気工事士の資格必要）
 - 据付工事は、感電のおそれがありますので、防護手袋を着用し、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
- 太陽電池モジュール・パワーコンディショナー・接続箱は、他社製品と組合わせての据付けは行わないでください。
- 取付けるための部材は必ず付属の部品を使用してください。
- 太陽電池モジュール1枚、同一系統の+・-コネクタをループさせないでください。
- 建築強度については考慮されていませんので、販売店様、施工店様にてご確認ください。



株式会社 屋根技術研究所

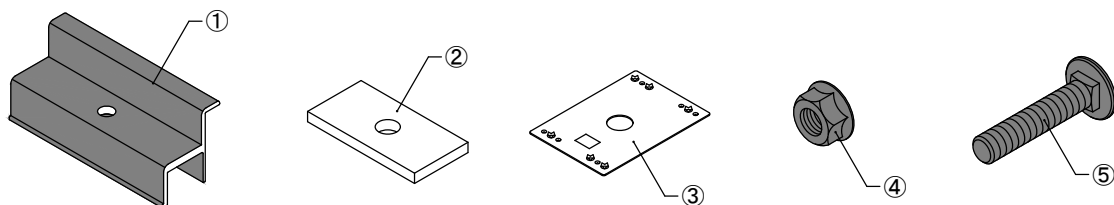
1. 架台

1) 架台部材

①ハゼ折板軒棟セット

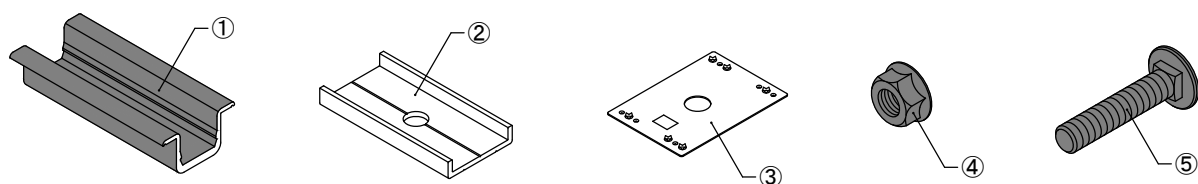
	品名	数量
①	軒棟固定金具**	2
②	YGCLスペーサーH-** ※	2
③	FLアース金具	1
④	M8フランジナット	3
⑤	M8-**根角ボルト	2

※YGCLスペーサーは、太陽電池モジュールの厚さが32mm 35mm 40mm 45mm 46mm 50mm以外の時に使用します。



②ハゼ折板中間セット

	品名	数量
①	YG0固定金具	1
②	YG0モジュールスペーサー	1
③	FLアース金具	1
④	M8フランジナット	1
⑤	M8-**根角ボルト	1

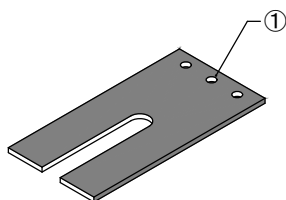


- 拾い出しの関係上、据付けに必要なのない部材が含まれている場合がございます。
- 固定部材の色は、太陽電池モジュールのフレーム色と異なる場合がございます。
- 軒棟固定金具の大きさや、根角ボルトの長さは、太陽電池モジュールの厚さによって異なります。

2) オプション部材

①不陸スペーサー 25枚入り

	品名	数量
①	不陸スペーサー L-80	25

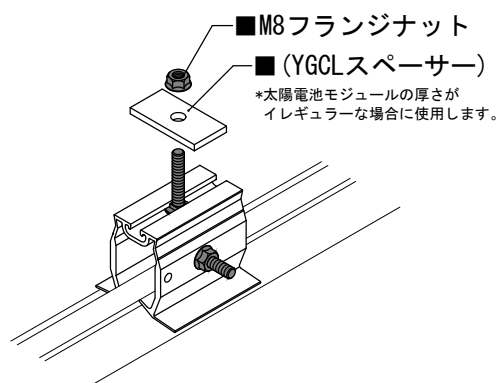
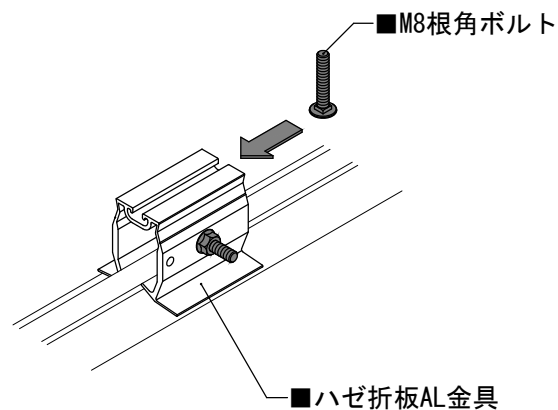
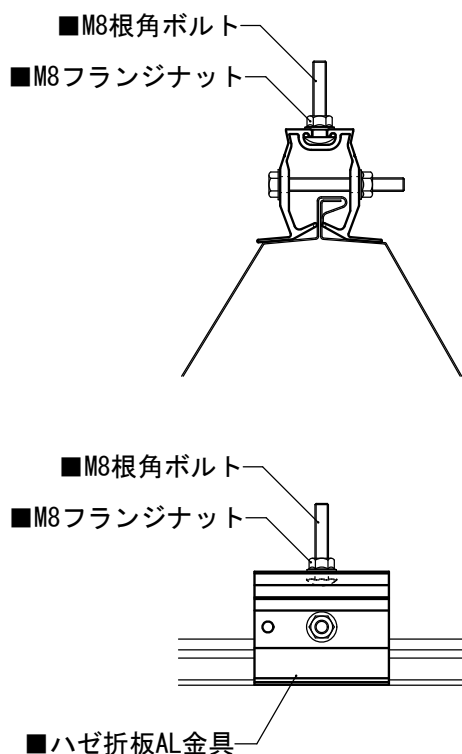


2. 太陽電池モジュールの据付け

※色は図と異なる場合がございます。

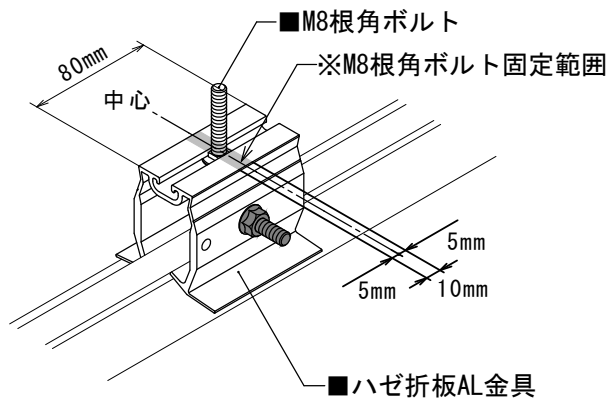
1) 1段目の太陽電池モジュールの据付け

- ① 軒先のハゼ折板AL金具にM8根角ボルトを差し込み、(YGCLスペーサー)、M8フランジナットを入れ、金具の中心で仮締めします。



！ 注 意

- ・ M8根角ボルトはハゼ折板AL金具の中心に固定することを基本としておりますが、やむを得ず金具の中心に固定できない場合は、金具の中心に対して10mmの範囲内にM8根角ボルトを納めてください。固定範囲の外にM8根角ボルトを納めると、太陽電池モジュールを取り付けることができなくなります。



②列の中央付近にあるハゼ折板AL
金具のM8根角ボルトを締めます。

③外側両端のM8根角ボルトを②のM8
根角ボルトに合わせ、軒側と平行
に揃えます。

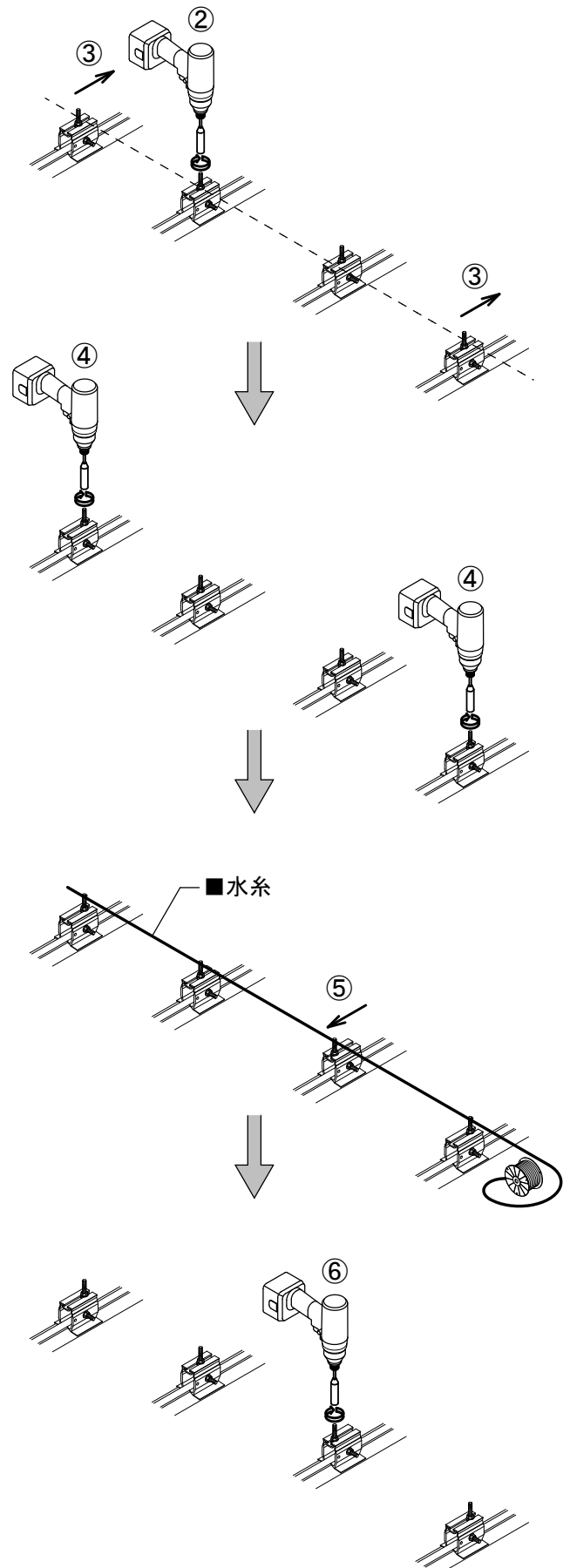
④位置が決まったら、外側両端の
M8根角ボルトを締めます。

⑤両端のM8根角ボルトに水系を張り、
残りのM8根角ボルトを水系に合わ
せます。

⑥位置を揃えたら、M8根角ボルトが
動かないように締めます。

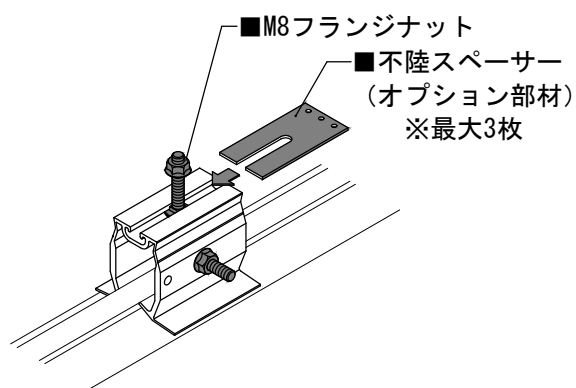
⑦不陸の調整が必要ない場合、全て
のM8根角ボルトを本締めします。
(締め付けトルク $4\text{N}\cdot\text{m}$ で締め付け
た後、トルクレンチで $8\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5$
まで締めます。)

※本締め後、ボルト締結部を油性ペ
ンでマーキングします。



- ⑧必要に応じ、不陸スペーサーを
M8フランジナット (YGCLスペーサー)
の下に入れ、不陸の調整をし
ます。

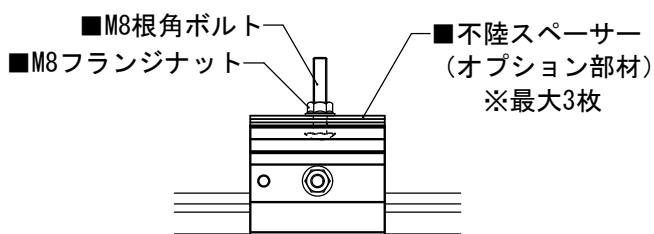
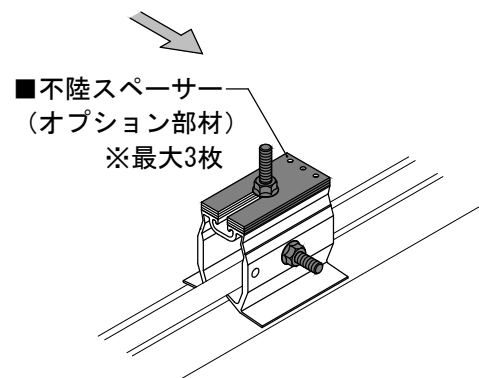
※不陸スペーサーは、最大3枚まで
入れることができます。



- ⑨不陸の調整が終わったら、本締め
します。

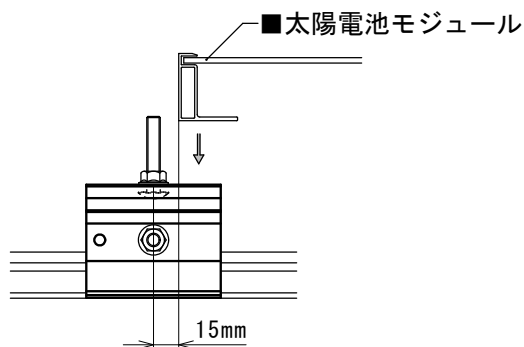
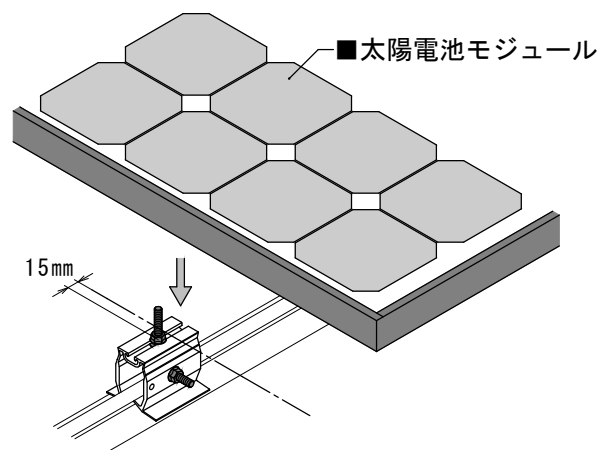
(締め付けトルク $4\text{N}\cdot\text{m}$ で締め付け
た後、トルクレンチで $6\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5$
まで締めます。)

※本締め後、ボルト締結部を油性ペ
ンでマーキングします。

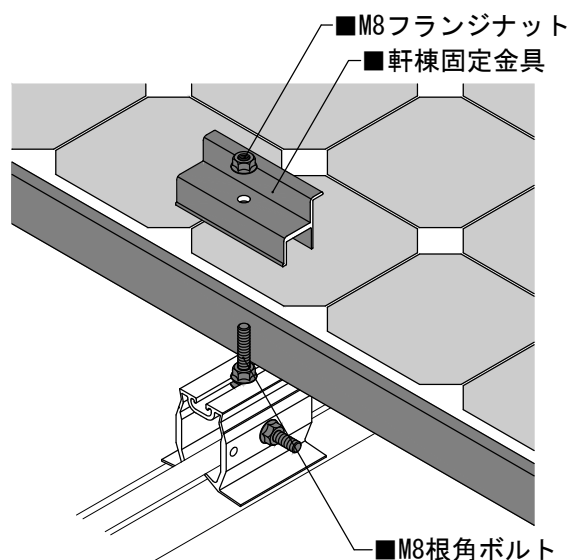
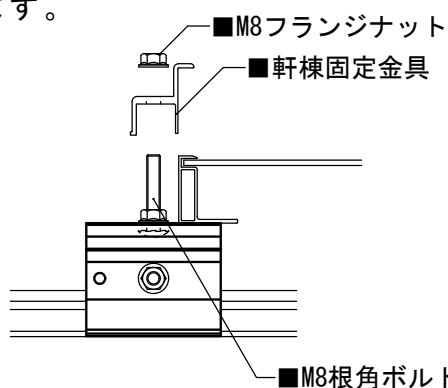


- ⑩ハゼ折板AL金具の上に太陽電池モ
ジュールを置きます。

この時、M8根角ボルトの中心から
15mm離してください。

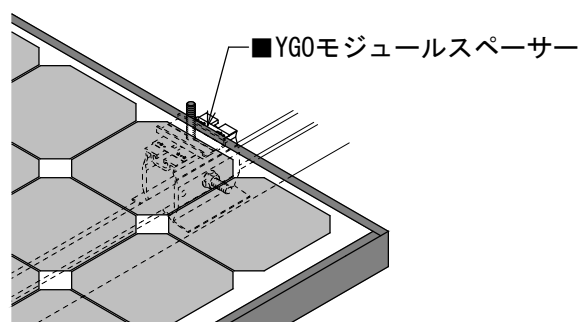
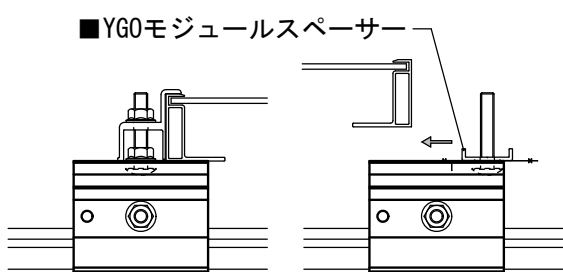
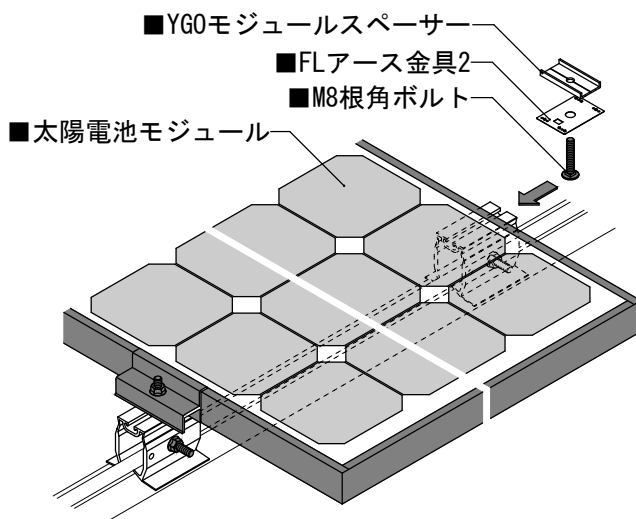


- ⑪M8根角ボルトに軒棟固定金具を入
れ、M8フランジナットで仮固定し
ます。



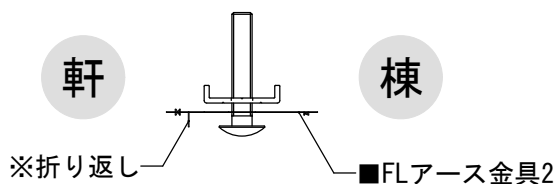
- ⑫ M8根角ボルトにFLアース金具2、
YGOモジュールスペーサーを入れ、
ハゼ折板AL金具に差し込みます。

- ⑬ YGOモジュールスペーサーを太陽
電池モジュールに当たるまでスラ
イドさせます。
※FLアース金具2は必ず太陽電池モ
ジュールを持ち上げて、ハゼ折板
AL金具の間に挟み込んでください。
挟み込むことでアースが取れます。

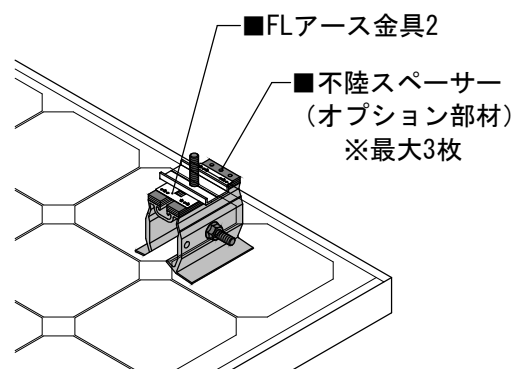
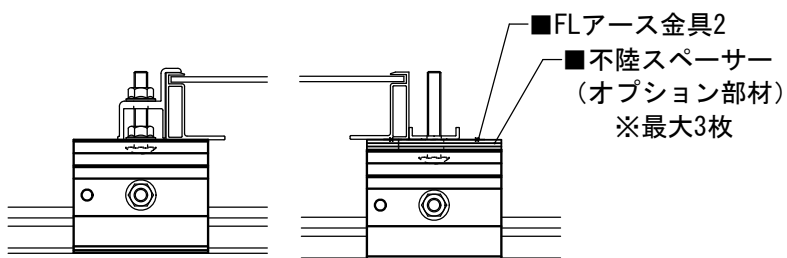


！ 注 意

- ・ FLアース金具2の折り返しを軒側にしてください。
逆に入れると不陸スペーサーが入らなくなります。



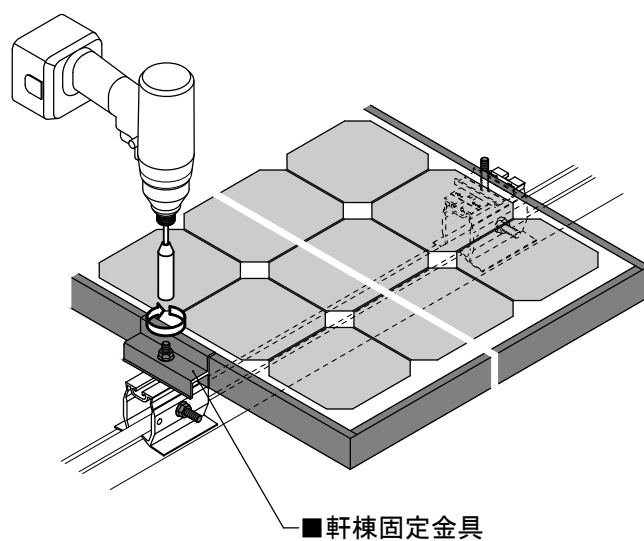
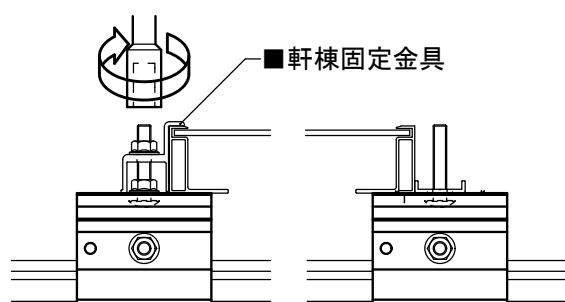
- この際、必要に応じて 1) ⑧⑨
の順に従い不陸調整を行います。
不陸スペーサーはFLアース金具2の
下に入れ込みます。
※最大3枚まで入れることができます。



⑭軒先側の軒棟固定金具を本締めします。

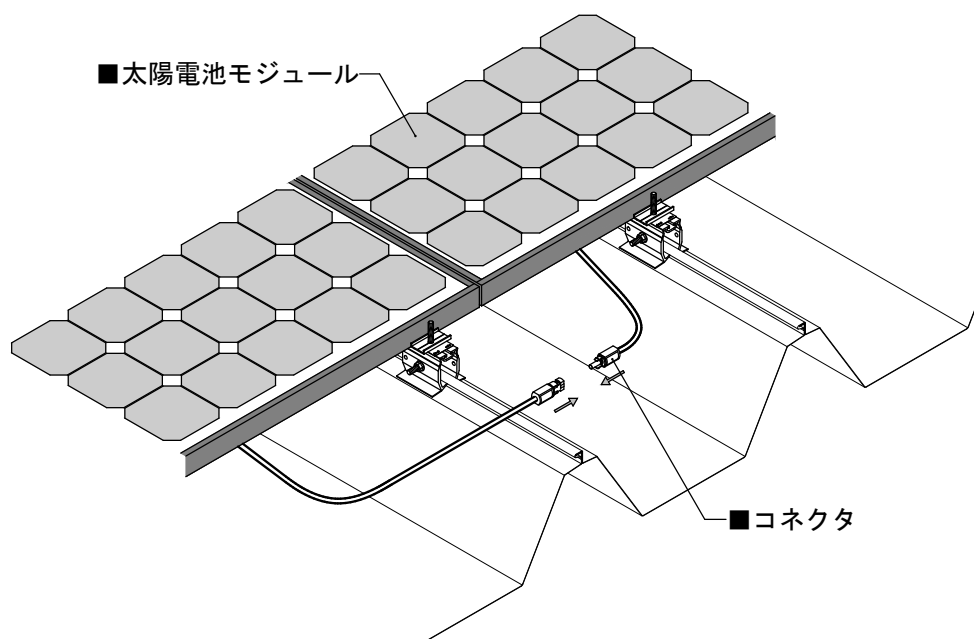
(締め付けトルク $4\text{N}\cdot\text{m}$ で締め付けた後、トルクレンチで $6\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5$ まで締めます。)

※本締め後、ボルト締結部を油性ペンでマーキングします。



2) コネクタの接続とケーブルの処理

① 太陽電池モジュール同士のコネクタを接続します。



！ 注 意

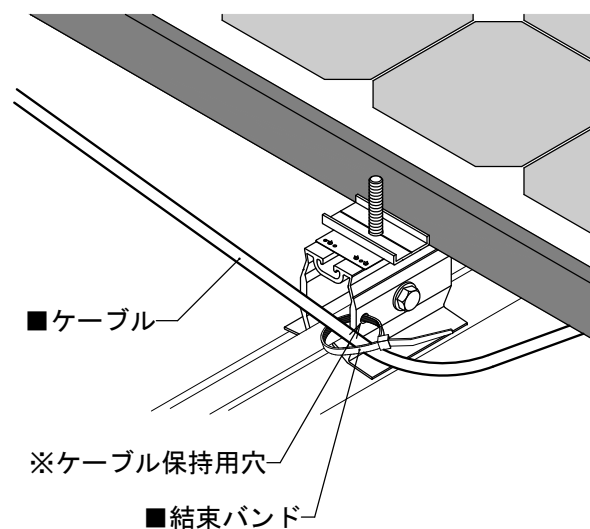
- ・ 太陽電池モジュール同士のコネクタ接続が確実に行われている事を必ず確認してください。
- ・ 太陽電池モジュールと架台の間にケーブル、コネクタを挟まないでください。
(コネクタに衝撃や荷重を加えると火災、感電の原因になります。)

② ハゼ折板AL金具のケーブル保持用の穴などを使い、ケーブルを結束バンド等で留め付けます。

この際、結束バンド等でケーブルを傷付けないよう注意してください。

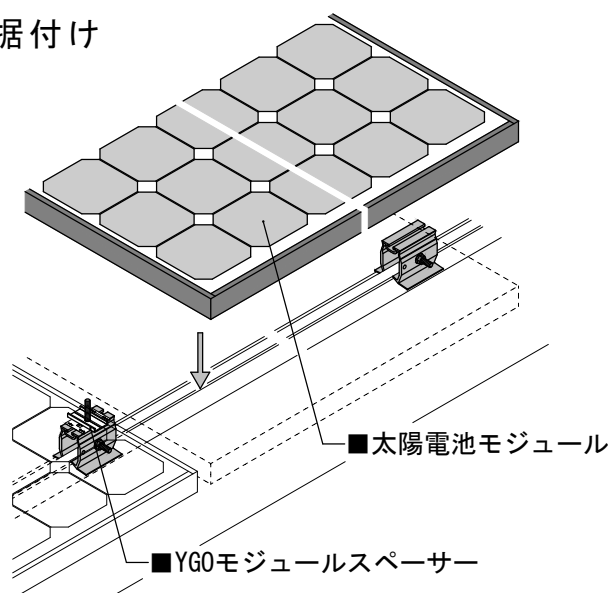
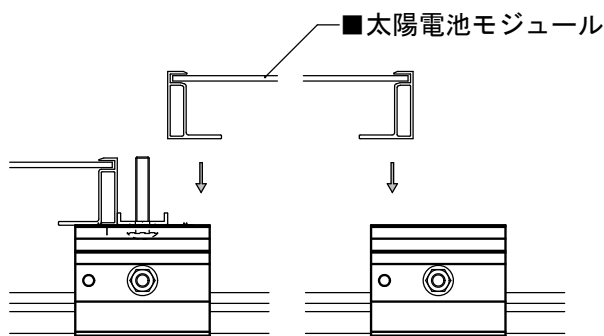
お願い

- ・ ケーブルが弛んで屋根材に触れないようにしてください。



3) 2段目以降の太陽電池モジュールの据付け

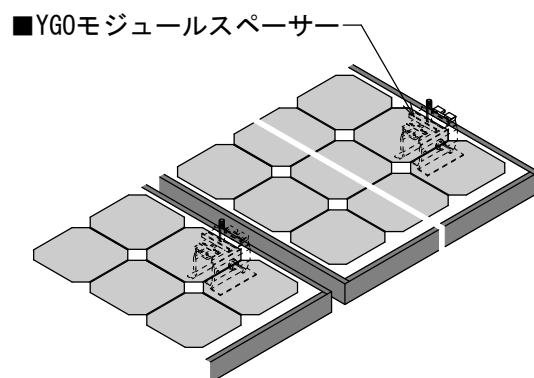
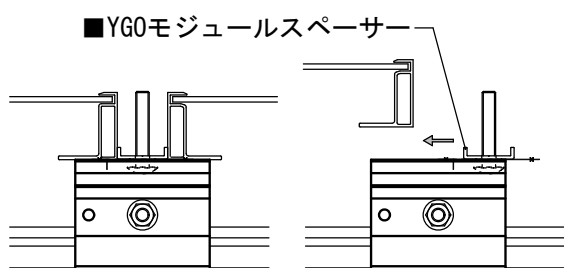
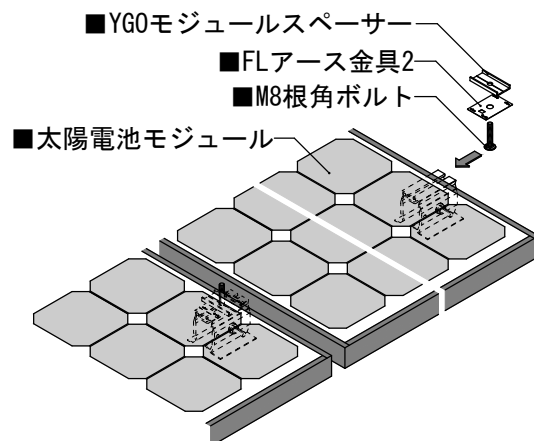
- ① 太陽電池モジュールをYG0モジュールスペーサーの後に置きます。



- ② M8根角ボルトにFLアース金具2、YG0モジュールスペーサーを入れ、ハゼ折板AL金具に差し込みます。

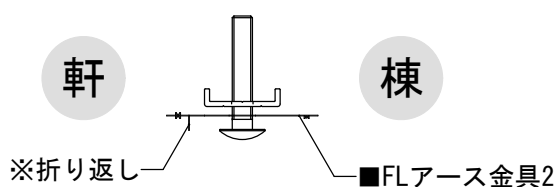
- ③ YG0モジュールスペーサーを太陽電池モジュールに当たるまでスライドさせます。

※FLアース金具2は必ず太陽電池モジュールを持ち上げて、ハゼ折板AL金具の間に挟み込んでください。挟み込むことでアースが取れます。



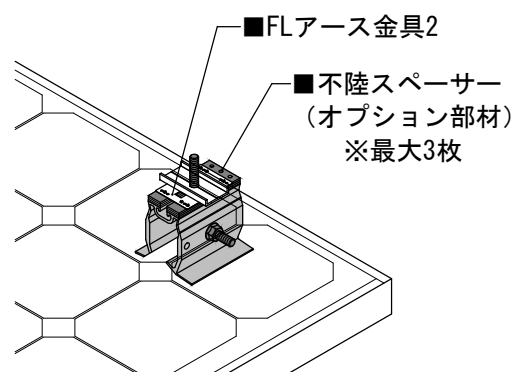
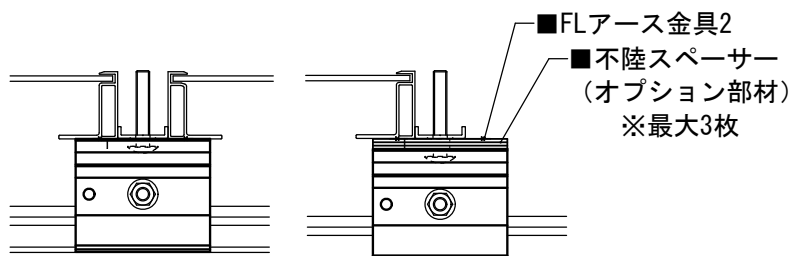
！ 注 意

- ・ FLアース金具2の折り返しを軒側にしてください。逆に入ると不陸スペーサーが入らなくなります。

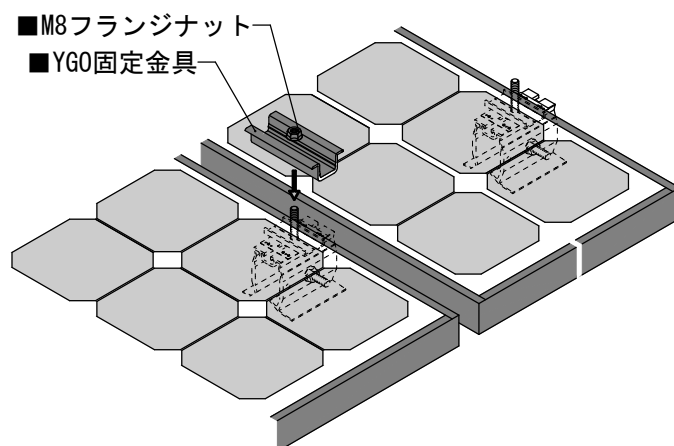
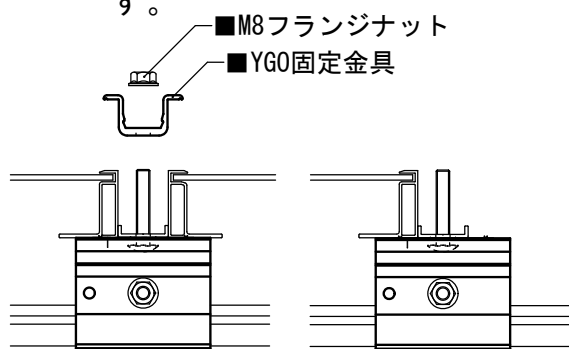


この際、必要に応じて 1) ⑧⑨
の順に従い不陸調整を行います。
不陸スペーサーはFLアース金具2の
下に入れ込みます。

※最大3枚まで入れることができます。



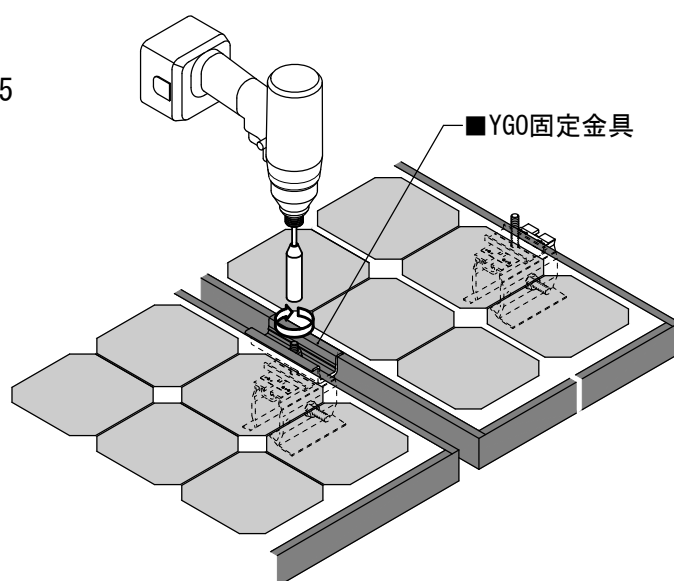
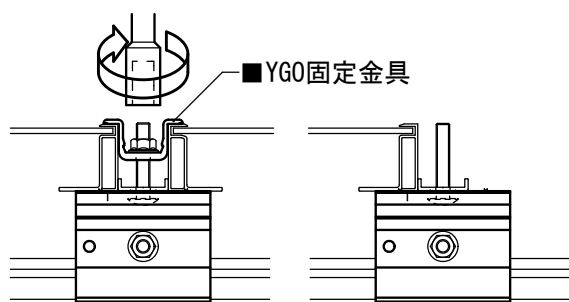
④ 太陽電池モジュール間にYG0固定
金具、M8フランジナットを入れます。



⑤ 太陽電池モジュール間のM8フラン
ジナットを本締めします。

(締め付けトルク4N・mで締め付け
た後、トルクレンチで6N・m±0.5
まで締めます。)

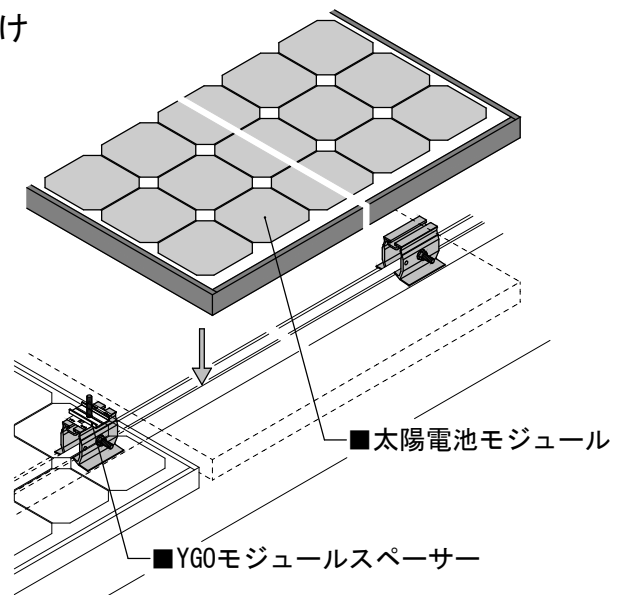
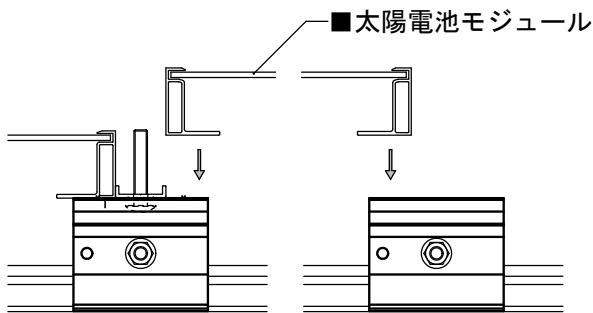
※本締め後、ボルト締結部を油性ペ
ンでマーキングします。



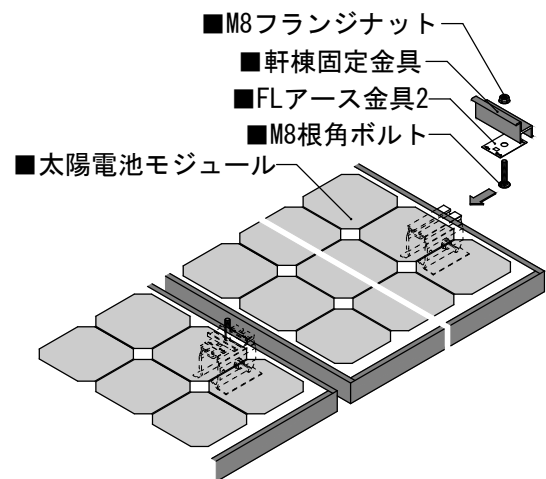
⑥ 2), 3) の手順を繰り返し、太陽電池モジュールを据付けます。

4) 最終段の太陽電池モジュールの据付け

- ①最終段の太陽電池モジュールを
YG0モジュールスペーサーの後に
置きます。

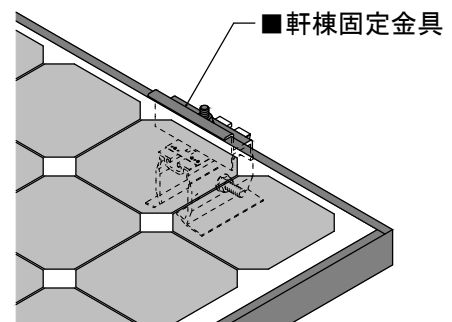
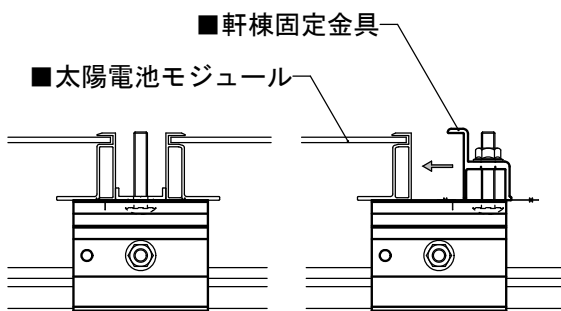


- ②M8根角ボルトにFLアース金具2、
軒棟固定金具、M8フランジナット
を入れ、ハゼ折板AL金具に差し込
みます。



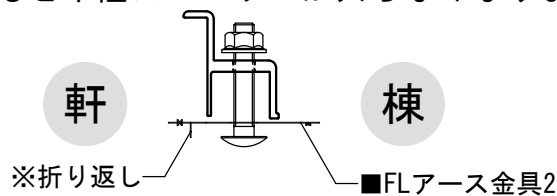
- ③軒棟固定金具を太陽電池モジュール
に当たるまでスライドさせます。

※FLアース金具2は必ず太陽電池モ
ジュールを持ち上げて、ハゼ折板
AL金具の間に挟み込んでください。
挟み込むことでアースが取れます。

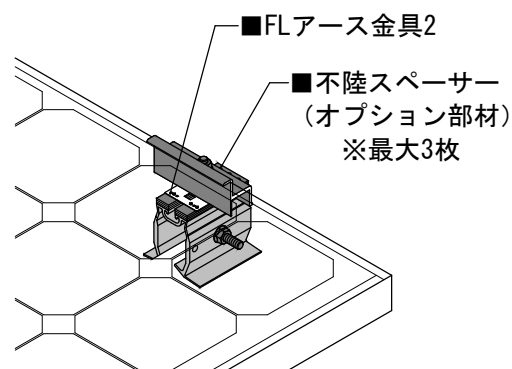
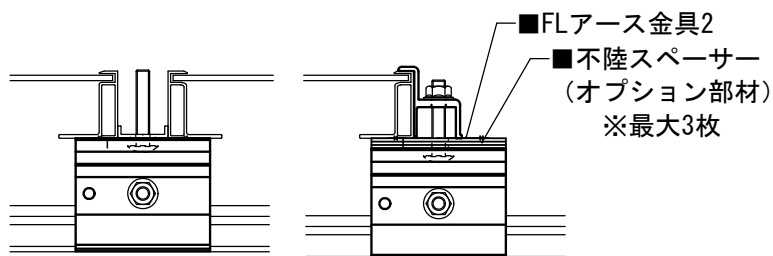


！ 注 意

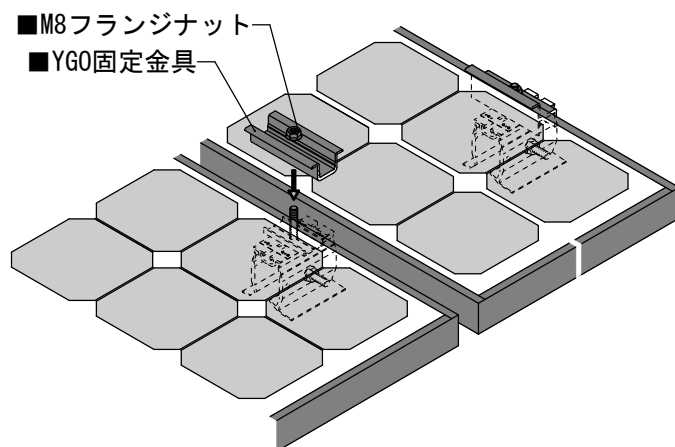
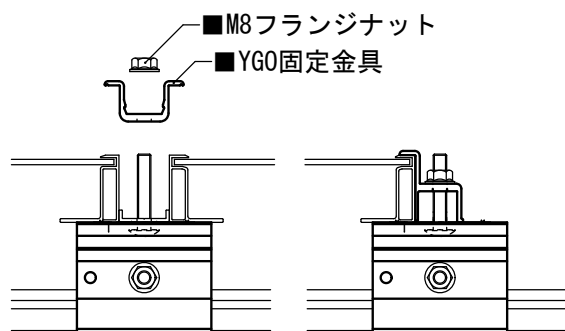
- ・FLアース金具2の折り返しを軒側にしてください。
逆に入れると不陸スペーサーが入らなくなります。



この際、必要に応じて 1) ⑧⑨
 の手順に従い不陸調整を行います。
 不陸スペーサーはFLアース金具2
 の下に入れ込みます。
 ※最大3枚まで入れることができます。



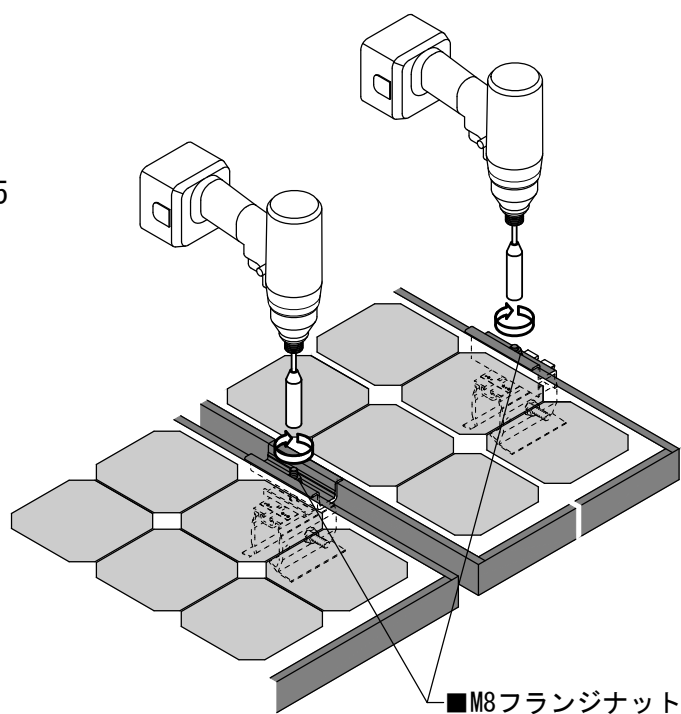
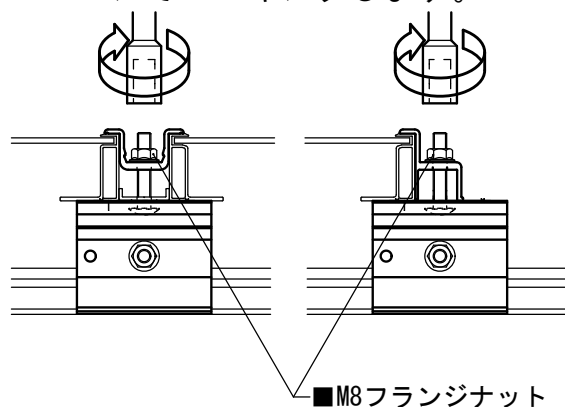
④ 太陽電池モジュール間のM8根角ボルトにYG0固定金具、M8フランジナットを入れます。



⑤ 全てのM8フランジナットを本締めします。

(締め付けトルク4N・mで締め付けた後、トルクレンチで6N・m±0.5
 まで締めます。)

※本締め後、ボルト締結部を油性ペンでマーキングします。



⑥ 2) と同様にコネクタの接続とケーブルの処理を行ってください。

5) 架台アース

① 太陽電池モジュール架台より接続箱、地面へアース接続します。

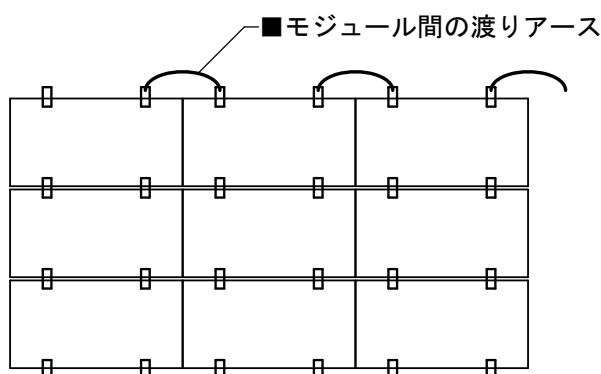
(i) 圧着端子（現場調達部材）をアース線（現場調達部材）に圧着ペンチで取り付けます。

(ii) アース線の圧着端子をドリルビス（現場調達部材）でハゼ折板AL金具の側面に打ち込み横方向の太陽電池モジュール間の渡りアースを取ります。

不陸スペーサーを使用した場合は、不陸スペーサーの穴に打ち込みます。

(iii) 地上接地用のアース線（現場調達部材）をハゼ折板AL金具に取り付けます。

(ii) 同様、不陸スペーサーを使用した場合は、不陸スペーサーの穴に打ち込みます。

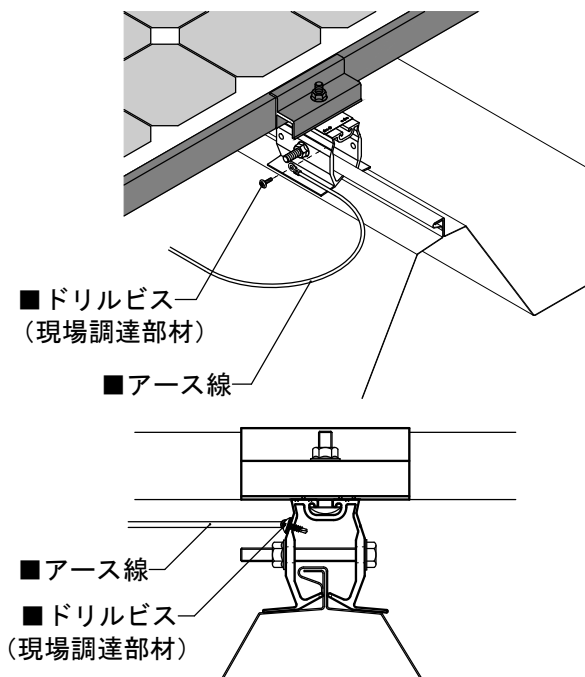


！ 注 意

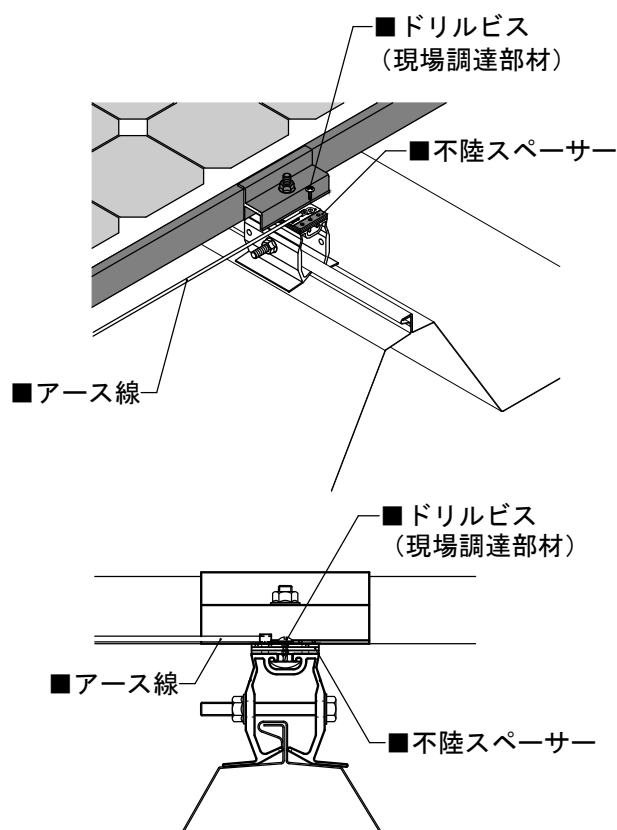
C種またはD種接地工事が必要です。
アースを取らないと感電の恐れがあります。
アース工事は有資格者が行ってください。

お願い

アース線が弛んで屋根材に触れないようにしてください。



不陸スペーサーを使用した場合



！ 注 意

不陸スペーサーを使用した場合、ハゼ折板AL金具は導通していませんので、必ず不陸スペーサーにアース接続してください。